



女類
教訓

賢女心伝

四

遠山
660
乙



賢女心化粧

四之巻

目録

第一

三つどけの髪之切と切髪乃地

昔の物種に香白の残子珠紋袋

世に推して鑑板も月小窓る海白縮

急の釣針一盃 喰楠流のち髪



門 遠 13
號 660
巻 4

明治三十八年
九月十一日
購求

第二 ちよとて人妻小掛の秤目心のねは

花とやそのわらひは村が小横らゝる色海

うらうらと人妻に通うらふやういふ噂

女でも小家の白菊のたりのまり

第三 小川のついでに小川師がまゝに

我始が美人よめといふれはうらうらの親に

なまををかつてゐるそらだんのこぼる

まはたさうがもくろいよ火が月よりの

あは家の愛先切ても切ぬ煙草の地

ひくい靴の鬼も十八からより内なる大振袖の女と

今時のあいの角も髪らゝあの人まで各別を

へかり女れとらゝは家らゝき瓜村とらゝねわ

氣が短ふかりて意の通らふ小川のついでに

小所の屋敷まで百夜通つた門柱もささ

屋根の凍しうぬりどるのねも風の白も夏

つよくようも毎日通つた一葉をばし才一

ちよとて人妻小掛の秤目心のねは

中へくあるゆで。九十九番の代を教へて、信洲へかゝる人のおのりて
 およそのいのちの化をわら。諸君のあてそのあやうらして、さかすあや
 教へてかゝるおのりいぬといふ御人いふいふと。啼泣入てなぬどど。きに
 かまふ。いづしはもろいすずて。我しづとを飛たさうらけ。いざ御方を
 あさあたる。あやうらしてんがら。打負てなまう。けつせのあやわげらしてか
 しこ教へし。男侍をうらしてきつて。いさあをめし。苦みの常人扱を
 つし。いざはあのおのりいぬといふ。おのりいぬといふ。いさあをせ。自分の後ろ
 を入て。あやうらして。いさあをせ。いさあをせ。いさあをせ。いさあをせ。
 この教へてん。いさあの中。坊には。いさあをせ。いさあをせ。いさあをせ。
 九十九。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。
 いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。
 いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。
 いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。

敬と。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。
 いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。
 いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。
 いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。
 いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。
 いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。
 いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。
 いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。
 いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。
 いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。
 いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。
 いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。
 いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。
 いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。
 いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。
 いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。いさあ。

心算書

秘訣考記にて。いまは此の書にせう中に賢く切せて。知らずはぬぬのんを
すぢ。物言におほきなるうゝをせとて。勢で勝物に教はるとするやうもの
いひ。つらうのりつて。勝つたすい。いふに。ぬぐ。望むにつもぬぬ者ぞと。
み勝ぬ人のせも。なぐ。勝物に。法に。つら。い。せ。つ。は。た。つ。は。た。つ。に。切。め。い。ま。じ
極て。え。ん。で。は。な。い。あ。ら。ぬ。もの。い。ま。じ。や。で。勝。つ。ら。い。に。い。ふ。も。あ。り。ま。じ。と。
向は。な。る。み。お。ほ。し。と。は。お。ほ。き。ま。い。れ。ぬ。を。誰。か。か。り。て。勢。も。さ。げ。ま。す。な。ら。ぬ
と。て。親。の。也。い。つ。り。て。か。目。し。の。地。方。よ。つ。あ。ま。さ。か。ら。も。の。本。何。ほ。者。い。ね。よ
つ。し。し。ゆ。づ。い。な。さ。ま。ち。あ。ら。も。く。並。お。さ。ら。な。い。者。向。し。し。せ。い。す。向。離
切。は。親。父。嫡。と。よ。ら。し。を。勝。て。出。し。と。我。友。に。別。れ。の。家の。傍。を。と。め。る。
と。い。ふ。を。他。の。仲。を。と。ま。さ。し。ん。店。ま。り。と。せ。て。を。れ。ら。が。強。が。ま。ら。ぬ。い。ま。じ
は。勝。い。よ。あ。ら。ぬ。も。の。も。守。は。し。海。を。その。男。作。と。は。る。に。て。喰。つ。が。の。花。を。い
は。は。男。め。し。或。何。勝。ご。と。び。付。て。流。し。物。南。性。に。し。付。て。は。い。ま。の。あ。ら。ぬ。強。追

けりる。正。と。び。う。の。物。と。あ。ら。ぬ。い。ま。じ。と。て。よ。う。親。父。と。せ。り。合。性。に。し。は。し
て。可。あ。り。し。ま。い。別。れ。後。に。を。ち。い。ふ。は。持。持。の。を。り。無。敵。と。て。強。を。向。き。ま。り
は。あ。ま。な。く。を。つ。い。し。あ。ま。な。さ。の。い。ま。い。し。せ。ら。に。は。し。ぬ。あ。ら。ぬ。あ。ま
一。ま。字。の。勝。物。の。つ。け。と。わ。る。あ。ま。の。三。形。め。の。考。考。夫。を。勝。物。に。強。う。つ。け
あ。ら。ぬ。い。ま。じ。あ。ら。ぬ。い。ま。じ。の。方。切。こ。ま。や。で。大。膽。を。あ。ま。を。付。と。あ。ら。ぬ。い。ま
ま。ら。ぬ。か。ら。い。は。あ。ら。ぬ。今。あ。ら。ぬ。と。も。あ。ら。ぬ。と。あ。ら。ぬ。あ。ら。ぬ。あ。ら。ぬ。あ
ら。ぬ。い。ま。じ。あ。ら。ぬ。い。ま。じ。と。は。勝。と。勝。物。よ。う。け。と。う。あ。ら。ぬ。い。ま
と。う。け。を。い。ま。じ。あ。ら。ぬ。い。ま。じ。と。い。勝。物。を。力。に。是。ま。い。り。あ。ら。ぬ。い。ま
う。い。ら。ぬ。い。ま。じ。あ。ら。ぬ。い。ま。じ。と。は。勝。と。勝。物。よ。う。け。と。う。あ。ら。ぬ。い
あ。ら。ぬ。い。ま。じ。あ。ら。ぬ。い。ま。じ。と。は。勝。と。勝。物。よ。う。け。と。う。あ。ら。ぬ。い
く。よ。う。あ。ら。ぬ。い。ま。じ。あ。ら。ぬ。い。ま。じ。と。は。勝。と。勝。物。よ。う。け。と。う。あ。ら。ぬ。い



Main body of handwritten text on the right page, written in a cursive script.

Main body of handwritten text on the left page, written in a cursive script.

て。おびちりては。つらほは。つねは。おちた。いふ。まは。い。た。ふ。ひ。の。ま。は。い。の。
 ま。は。い。の。ま。は。い。の。ま。は。い。の。ま。は。い。の。ま。は。い。の。ま。は。い。の。
 が。う。が。娘。の。ま。は。い。の。ま。は。い。の。ま。は。い。の。ま。は。い。の。ま。は。い。の。
 ま。は。い。の。ま。は。い。の。ま。は。い。の。ま。は。い。の。ま。は。い。の。
 ま。は。い。の。ま。は。い。の。ま。は。い。の。ま。は。い。の。ま。は。い。の。
 の。ま。は。い。の。ま。は。い。の。ま。は。い。の。ま。は。い。の。ま。は。い。の。
 の。ま。は。い。の。ま。は。い。の。ま。は。い。の。ま。は。い。の。ま。は。い。の。
 の。ま。は。い。の。ま。は。い。の。ま。は。い。の。ま。は。い。の。ま。は。い。の。
 の。ま。は。い。の。ま。は。い。の。ま。は。い。の。ま。は。い。の。ま。は。い。の。

二五ノ巻

出。は。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。
 側。よ。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。
 と。出。て。お。出。て。お。出。て。お。出。て。お。出。て。お。出。て。お。出。て。お。出。て。
 とい。わ。ら。る。者。も。あ。ら。う。と。い。ふ。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。
 一。と。十。米。斗。の。米。を。揚。ろ。う。け。て。い。か。か。の。米。を。い。か。か。の。米。を。
 者。令。之。同。米。や。る。同。の。儀。事。同。儀。様。と。お。お。づ。ま。居。候。御。座。候。と。い。は。
 の。ま。は。い。の。ま。は。い。の。ま。は。い。の。ま。は。い。の。ま。は。い。の。ま。は。い。の。
 一。と。七。後。の。お。出。上。下。も。は。は。と。個。多。の。女。も。あ。ら。う。と。い。は。し。
 かし。と。ま。は。い。の。ま。は。い。の。ま。は。い。の。ま。は。い。の。ま。は。い。の。ま。は。い。の。
 ら。れ。ん。と。い。は。う。と。い。は。し。と。い。は。し。と。い。は。し。と。い。は。し。と。い。は。し。
 へ。米。を。お。出。上。下。の。儀。事。同。儀。様。と。い。は。し。と。い。は。し。と。い。は。し。

職より大に之を著しす。して志す。るね。何のつて。何れ。女。つて。女
 房。お。り。る。の。多。く。中。に。代。り。ま。し。人。事。に。お。り。つ。ち。さ。り。し。女
 一。色。の。養。ひ。な。る。も。ま。お。り。を。お。し。ひ。ひ。ひ。人。を。お。し。之。未。が
 親。つ。り。終。い。も。な。れ。ま。ら。い。つ。し。ま。ま。眞。か。け。い。大。高。人。の。妻。の。女。
 さ。り。つ。い。は。合。り。の。也。も。お。り。を。お。し。ひ。ひ。ひ。人。を。お。し。之。未。が
 け。れ。ん。と。皆。い。ふ。未。は。も。お。り。を。お。し。ひ。ひ。ひ。人。を。お。し。之。未。が
 何。れ。と。お。て。さ。り。つ。て。お。し。ひ。ひ。ひ。人。を。お。し。之。未。が
 る。は。ゆ。ら。れ。て。さ。り。つ。て。お。し。ひ。ひ。ひ。人。を。お。し。之。未。が
 の。は。お。り。の。養。ひ。の。つ。ち。さ。り。し。女。房。の。つ。ち。さ。り。し。女
 婦。入。せ。よ。め。す。この。年。は。お。り。を。お。し。ひ。ひ。ひ。人。を。お。し。之。未。が
 り。ま。ら。つ。て。は。お。り。の。養。ひ。の。つ。ち。さ。り。し。女。房。の。つ。ち。さ。り。し。女
 婦。入。せ。よ。め。す。この。年。は。お。り。を。お。し。ひ。ひ。ひ。人。を。お。し。之。未。が

心はけのつちさりし女房のつちさりし女

こそ。著。い。る。も。お。り。の。養。ひ。の。つ。ち。さ。り。し。女。房。の。つ。ち。さ。り。し。女
 婦。入。せ。よ。め。す。この。年。は。お。り。を。お。し。ひ。ひ。ひ。人。を。お。し。之。未。が
 申。ゆ。り。の。養。ひ。の。つ。ち。さ。り。し。女。房。の。つ。ち。さ。り。し。女
 る。は。ゆ。ら。れ。て。さ。り。つ。て。お。し。ひ。ひ。ひ。人。を。お。し。之。未。が
 そ。こ。さ。り。つ。て。お。し。ひ。ひ。ひ。人。を。お。し。之。未。が
 と。我。の。つ。ち。さ。り。し。女。房。の。つ。ち。さ。り。し。女
 と。け。れ。ん。と。皆。い。ふ。未。は。も。お。り。を。お。し。ひ。ひ。ひ。人。を。お。し。之。未。が
 も。ろ。子。を。お。し。ひ。ひ。ひ。人。を。お。し。之。未。が
 東。も。お。り。の。養。ひ。の。つ。ち。さ。り。し。女。房。の。つ。ち。さ。り。し。女
 大。お。り。の。養。ひ。の。つ。ち。さ。り。し。女。房。の。つ。ち。さ。り。し。女
 み。や。ら。る。お。り。の。養。ひ。の。つ。ち。さ。り。し。女。房。の。つ。ち。さ。り。し。女



